

徳島の地域課題を解決するパートナーに 自治体と企業の マッチングイベント

参加無料
事前予約制

IN OSAKA

観光ビジネス創造、DX推進、農業データ利活用

地方自治体を持つ課題を、あなたのスキルを活かして、新たなビジネスに繋げませんか？徳島県は地域課題を解決するパートナーとしての、新たなサテライトオフィスを求めます。

参加対象

地方の課題に対して興味を持つ企業やフリーランス事業者

参加概要・応募方法

- 参加無料
- 参加定員（先着30名 / 定員になり次第終了いたします。）

事前予約制

右のQRコードを読み取り、
応募フォームにご記入の
うえお申し込みください。



※申込〆切 / 令和4年11月4日(金)午後5時まで

日時・会場

2022 **11/11** (fri)

14:30▶16:30 [開場 / 14:00]

THE DECK [ザ・デッキ]

大阪市中央区南本町 2-1-1 1F
TEL 06-6125-5627



- 会場では、マスクの常時着用、受付時の検温の実施、手指のアルコール消毒、ソーシャルディスタンスの確保などのご協力をお願いします。
- 発熱、せきやのどの痛みなど体調不良の方のご参加はご遠慮ください。

お問い合わせ先

政策創造部 地方創生局
とくしまぐらし応援課 学び・働き創造室 TEL.088-621-2083
✉ tokushimagurashioenka@pref.tokushima.jp

当日スケジュール

時間	プログラム
14:00	開場
14:30	徳島県が取り組む新たなサテライトオフィスに関する説明
14:40	トークセッション
15:10	自治体プレゼンテーション
15:30	徳島県のサテライトオフィス支援制度
15:40	自治体ごとの個別相談会
16:30	閉会

※参加自治体の詳細は裏面に掲載しています。

トークセッション

地域課題にともに取り組み、サテライトオフィスの在り方
地域課題をともに解決するパートナー。これからのサテライト
オフィスの在り方に関するトークセッションを行います。



(株)イーツリーズ・ジャパン
代表取締役社長

船田 悟史 氏

1975年1月生まれ。東京工業大学大学院在学中に、友人とともに株式会社イーツリーズ・ジャパンの設立に参画。インターネット通信を行う機器開発を中心に、サーバ機器・組み込み機器の研究・製品開発に従事。2008年、代表取締役就任。2017年に美波町にサテライトオフィスを設立。



(株)ブックスランド
代表取締役社長

笹本 正明 氏

京都産業大学経営学部卒 / 大阪市立大学大学院創造都市研究科アントレプレナーシップ研究分野修了。信用金庫で法人営業を経て住宅リフォーム会社に転職し、集客部門の責任者などの経験。2009年に大阪で起業。自社の経営課題を解決する目的で2016年に美波町に「美波うみがめオフィス」を開設。

参加自治体・地域に関して

プレゼン参加自治体・地域課題ブース

- 鳴門市 —— 通過型から滞在型へつながる観光作りを！
- 東みよし町 —— いちごを活用した地域活性化
- 勝浦町 —— 小さな町でのデジタル化
- 海陽町 —— 【世界初】が走る町
- 「四国の右下」若者創生協議会(徳島県南部)
—— 地域課題からビジネスを起こす！

徳島県内各圏域ブース(東部圏域・南部圏域・西部圏域)

参加自治体・地域紹介

徳島の地域課題を解決するパートナーに 自治体と企業のマッチングイベント

自治体プレゼンテーションでは、それぞれの自治体・地域が持つ地域課題と求める企業像をプレゼンします。各自治体を持つ地域課題に対する解決提案をお待ちしております。

東みよし町

いちごを活用した地域活性化



東みよし町ではSociety5.0事業として夏秋(かしゅう)いちごを中心に、先端技術を用いた”スマート農業”の実装化にむけた仕組みづくりに取り組んでいます。その一環として地元農家と連携し、いちご農業の様々なデータを収集しているのですが、そのデータの利活用をともに考えていただけるパートナーを探しています。農業に詳しくなくても構いません。IT・IoT・データ活用によって新しい農業の仕組み・アイデアと一緒に考え、実践していきましょう。

海陽町

【世界初】が走る町



四国の右下に位置する海陽町では、世界初の乗り物DMV(線路と道路を両方走る乗り物)を活かした観光PRやワーケーションの推進に力を入れています。「世界初のDMV」を活用した観光PRと一緒に考えていただき新たなビジネスに繋げていただける企業や事業者の皆様、ぜひ一度、海陽町にお越しただいて、海陽町を直接感じていただき、常にチャレンジし続ける海陽町と一緒に未来を描いていただけませんか。

鳴門市

通過型から滞在型へつなげる観光作りを!



全国的に知名度の高い観光資源を持つ鳴門市。四国の玄関口であるがゆえに多い短時間滞在の「通過型観光」を長時間滞在または、宿泊を伴う「滞在型観光」へ転換していくことが課題です。鳴門の観光資源をさらに磨き上げながら、通過型から滞在型へ転換するための観光ビジネスモデルづくりを、私たちと一緒に取り組んでいただける方を探しています。視察対応や補助制度のご案内等、企業様の地方進出がスムーズに行えるよう幅広く対応していますので、会場でお話しできることを楽しみにしています。

勝浦町

小さな町でのデジタル化



勝浦町は人口(約5,000人)の約45%が65歳以上、平均年齢約56歳の過疎地域です。特に集落が分散する中山間地域において「安心・安全な暮らしの確保」にむけて、コミュニケーションを中心としたデジタル化による住民サービスの改善が課題となっており、小規模な自治体に適したデジタル化を進めるための方法を一緒に考えていただけるパートナーを求めています。過疎地域でのDX推進による「可能性」を一緒に考えてくださる皆さまとお話できることを楽しみにしています。

「四国の右下」若者創生協議会(徳島県南部)

地域課題からビジネスを起こす!



徳島県南部、通称「四国の右下」では、進出後も持続した活動ができる体制があります。地元事業者と連携を深め、地域の担い手として新たなビジネスを起こす仲間になってくれませんか?。地域に入り込んで新しいチャレンジをしましょう!

TOKUSHIMA SATELLITE OFFICE PROJECT

とくしまサテライトオフィスプロジェクトとは

プロジェクト開始10年の実績

サテライトオフィス開設数
全国トップクラス



徳島県では平成24年度からサテライトオフィス誘致プロジェクトに取り組んでおり進出企業数91社(令和4年8月末時点)と全国トップクラスの先進県となっております。10年間の取り組みの中で、サテライトオフィス自体の捉え方・考え方にも変化が生まれ、ワークライフバランスを意識した地方オフィスから、地域の課題を解決するパートナーとなり新たなビジネス創出を目的としたサテライトオフィスが増えています。令和4年度には、Sansan(株)のサテライトオフィス進出をきっかけに、私立「神山まるごと専専」が開校決定し、「新たな地方創生の全国モデル」として注目されています。

TOKUSHIMA SATELLITE OFFICE CONCIERGE

徳島ならではの!サテライトオフィスコンシェルジュ



「実際に現地を案内してほしい」
「地域課題を確かめたい」
「地元のキーマンと話してみたい」
そんな企業の方向けに、徳島県ならではのコンシェルジュが細やかに対応し、サポートいたします。



東部
サテライトオフィスコンシェルジュ
特定非営利活動法人 グリーンバレー



南部
サテライトオフィスコンシェルジュ
株式会社あわせ



西部
サテライトオフィスコンシェルジュ
有限会社データプロ